

幼稚園だより 3月号

2025年2月25日
港区立芝浦幼稚園
園長 青山 伸子



修了・終業に向けて

正門前の河津桜が次々に開花し、園庭の沈丁花のつぼみが大きくふくらむなど、春の訪れが感じられる頃となりました。とうきょうすくわくプログラム事業【「伸びる・育つ(すくすく)」と「好奇心・探究心(わくわく)」を応援するプログラム。主体的・協働的な探究活動を通じ、豊かな心の育ちをサポートする事業】の一環として実施した、2月の園内の自然探索会(講師:プロ・ナチュラリスト 佐々木洋 先生)でも、園庭やビオトープの植物や生き物などに触れ、子どもたちは冬から春の季節の変化による自然の様子に興味や関心をもち見たり、見つけたものや気付いたことについて講師の先生や担任、友達と話したりしていました。

2月には、子どもたちがこれまでに経験したことを土台にして、より一層、園での遊びや活動を楽しむ姿が見られています。

3歳児年少組は、『こどもかい』で大勢のお客様に観ていただいた劇あそびの内容を遊びの中で再現しています。動物になったつもりでお家ごっこやお店ごっこをしたり、劇あそびの中で用いた道具を遊びに使ったりしています。登園時に、友達の姿を見て「〇〇ちゃん、おはよう。今日も一緒にお家つくって遊ぼうよ」などと、友達と一緒に過ごしたい気持ちを自分から表し、関わって遊んでいます。

4歳児年中組は、今まで5歳児年長組が行っていた誕生会の司会や飼育物の世話などを教えてもらいながら取り組んでいます。「年長組さんみたいに、すてきな歩き方やお辞儀ができたね」「司会、ちょっとドキドキしたけれど大きな声で言えたよ!」「ウサギのみるくちゃんのお家の掃除の仕方、年長組さんが優しく教えてくれたね」と、5歳児年長組と関わりながら、いろいろなことを引き継いでいくことを喜んでいる姿が見られます。

5歳児年長組は、芝浦小学校の1年生と交流活動をしたり、修了式に向けた活動に取り組んだりしています。1年生や小学校の先生と関わり、小学校生活への期待感が高まっている様子が見られています。園生活を振り返り、たくさんの思い出や周りの人への感謝の気持ちを言葉や歌で表す活動の中で、自分たちが多くの方に支えていただき成長したことを感じていることと思います。

間もなく3月を迎え、園生活は残り少ない日数です。子どもたちが「大きくなってうれしいな」「一つ大きな学年になるのが楽しみだな」「入学するのが待ち遠しいな」と感じ、修了・終業に向けて意欲的に活動できるように教職員一同でさらに努めてまいります。

開園60周年の今年度、保護者の皆様・地域の皆様・ご関係の皆様には、園の教育活動に多大なるご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今後ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



開花し始めた正門前の河津桜。地域の方から「毎年、咲くのを楽しみにしています」とのお声が聞かれています。2月の自然探検では、池にいるヤゴなどをみんなで観察しました。



〒108-0023 港区芝浦 4-8-18
TEL03(3452)0574
教育活動の様子など、ぜひ園のホームページや公式Xをご覧ください。



芝浦幼稚園ホームページ



芝浦幼稚園 X